

(様式第3号)

パブリックコメント（意見公募）手続による意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。
ご協力に感謝申し上げます。

【意見募集の集計結果】

1	案 件 名	第2次千歳市食育推進計画（素案）	
2	意見募集期間	平成25年12月16日（月）～平成26年1月15日（水）	
3	意見の件数（提出者数）	5件（ 1人）	
4	意見の取扱い （対応内容の分類）	案を修正するもの	0件
		既に案に盛り込んでいるもの	3件
		今後の参考とするもの	2件
		意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）	0件
5	意見の受け取り方法	電子メール	人
		郵送	人
		ファクシミリ	1人
		意見箱	人
		直接持参	人

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	<p>「早寝・早起き・朝ごはん」について、朝食を、忙しい主婦、母親にとってあえてどうやったら作りやすいか具体的なアピールがほしい。</p> <p>例えば、前日仕込み（準備）、保存食、中食の利用など、図や言葉を駆使して表現してはどうか。</p>	1	<p>分類～ 今後の参考とするもの</p> <p>「早寝・早起き・朝ごはん」につきましては、26ページの基本目標1『食を生かす～健康で豊かな食生活の実践』に掲げている『規則正しい食習慣の確立』の中で、朝食を毎日必ず食べる習慣の重要性を示すため、本文において提唱し、さらに、27ページのコラムで『朝ごはんをたべよう』を掲載して、朝ごはんの効果をおアピールしております。</p> <p>朝食づくりに関するご提言につきましては、朝食の習慣化のための方策の一つとして、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>「早寝・早起き・朝ごはん」について、噛むことやバランス、家族の健康に気づく機会や関心が深くなる朝食の機能性の向上を提言する。</p>	1	<p>分類～ 既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>「噛むこと」につきましては、朝食に特化したものではありませんが、規則正しい食習慣を確立し、食事を楽しく、おいしく食べるために生涯にわたり歯の健康を維持、増進することの重要性を示すため、27ページのコラムで厚生労働省の提唱する『噛ミング30（カミングさんまる）』運動を紹介しております。</p> <p>また、「バランス」につきましては、26ページ『栄養バランスのとれた食事や日本型食生活を食卓に取り入れる』の中で、朝食も含め、栄養バランスのとれた食生活の実践を提唱しております。</p>

			<p>「家族の健康に気づく機会等」につきましては、30ページの基本目標2『食を楽しむ～身の周りの食に関心を持ち、豊かな心を育てる』に掲げている『楽しく食事をとるための工夫に努める』の中で、朝食に限らず、食事を家族等とのコミュニケーションの場として子どもに食の楽しさを実感させ、心の豊かさと安定をもたらすものとして位置づけており、各取組の中で、その普及・啓発に努めてまいります。</p>
3	<p>千産千消のこだわりについて、アンケート調査の結果では、成人は各年齢を平均すると13.2%で、保護者（子どもの所属別）平均の40%よりも低い。そのため、中学生から高校生の世代で関心を落とさないことが大事と言える。</p> <p>共につくる食卓、家庭での調理、親子の関わり方を含めて関心を深めることが大事である。</p>	1	<p>分類～ 既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>「千産千消」につきましては、34ページの基本目標3『食を育む～豊かな地域の食を守り育て、次世代へ継承する』に掲げる『千歳市でとれた食材を活用し、千産千消への理解を深める』及び『郷土料理等、地域の食文化を知り次世代に継承する』の中で、生産者と消費者や、様々な年代が交流し、地域や家庭で受け継がれてきた食文化に関心を持ち、次世代へ継承するための施策として提唱しております。</p> <p>ご提案の「家庭や親子で関心を深める取組」につきましては、30ページの基本目標2『食を楽しむ～身の周りの食に関心を持ち、豊かな心を育てる』に掲げる施策の中で、食事が「家族等とのコミュニケーションの場として子どもに食の楽しさを実感させ、心の豊かさと安定をもたらすこと」、「食べ物がどのように生産され、消費されているかに関心を持つこと」を提唱しており、各取組の中で、千産千消の普及・啓発に努めてまいります。</p>

4	<p>千産千消について、車社会であるが「農業の出前」、農業が町内にやってくる「出前市」の開催を提言する。</p>	1	<p>分類～ 既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>ご提案の「農業の出前」につきましては、類似する取組として、35ページのコラムに『千産千消（地産地消）の主な取組』として紹介している「おいしさ千歳産味わいフェスタ」や、37ページに掲載の「軽トラ観光ちとせ市（直売所）」、「農業まつり」などの取組を位置づけているところであり、これにより生産者と消費者との交流が図られ、千産千消に関する関心を高める効果が期待できるものと考えております。</p>
5	<p>食育への関心について、アンケートでは食育に関する活動や体験に参加経験がないが、参加したい人の比率が平成20年度に比べ平成25年度は微増しており、内容と日時が合えばニーズのあることがわかる。</p> <p>そこで、ベランダ、庭先、貸農園などでの栽培から収穫したものを食する完結型の体験を、農業・技術者・ソムリエなどのアドバイスを得て実施する「千歳市民 いのちを育て いのちをいただくキャンペーン」を提言する。</p>	1	<p>分類～ 今後の参考とするもの</p> <p>市民が参加してみたい「食育に関する活動や体験」のうち、農林漁業などに関する体験につきましては、15ページの食育への関心についてのアンケート結果において、食生活の改善、生活習慣病予防、食品の安全等、食文化継承に関する活動に次いで関心が高い活動であることから、30ページの基本目標2に掲げる『食べ物大切さを知り、自然の恵みに感謝する』の中で、食材の生産・流通から食卓までの過程を理解し、感謝する取組として、幼児期から青年期における収穫体験や農業体験などの取組を位置づけております。</p> <p>ご提言の「千歳市民 いのちを育て いのちをいただくキャンペーン」につきましては、これらの取組と同様、食育の関心を高めるための具体的な方策の一つとして、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>